

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月29日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東  
 コード番号 3839 URL <https://www.odk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,427	△2.6	△530	—	△481	—	△391	—
2025年3月期第3四半期	3,517	10.1	△447	—	△396	—	△320	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △269百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △269百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△47.88	—
2025年3月期第3四半期	△39.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	7,983	5,962	74.7	727.62
2025年3月期	9,253	6,304	68.1	771.02

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,962百万円 2025年3月期 6,304百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	5.00	—		
2026年3月期（予想）				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,200	11.2	530	2.7	580	0.6	380	44.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,200,000株	2025年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,813株	2025年3月期	22,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,187,223株	2025年3月期3Q	8,144,009株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカの通商政策による影響があるものの、雇用・所得環境の改善や企業収益の伸長を背景に緩やかな回復基調が続いております。一方で、物価上昇継続や海外経済動向等による景気下振れ懸念、新政権への期待の声等が混在し、先行きが見通しづらい状況にあります。

情報サービス産業におきましては、人材不足が慢性的に継続しているものの、企業の収益性向上や人手不足対策等のためのD X（デジタルトランスフォーメーション）及びA Iへの投資は引続き高い水準で推移しており、市場のさらなる拡大が見込まれております。

こうした環境下、当社グループは、日常の様々な体験や実績をNFT(※1)としてデジタル化・蓄積する『アプデミー®』の活用により、「学歴・資格」等だけではなく多様な体験が個人の価値として、大学入試や留学、就職活動等に活用できる世界観の実現を目指しております。

ビジョンマップ特設サイト (URL: <https://www.odk.co.jp/company/visionmap/>)



長期的に目指す世界観を踏まえ、当社グループでは、中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「UCARO®を軸としたデータビジネス推進」「M&A・アライアンスの推進」「研究開発成果のビジネス展開加速」「子会社合併効果の最大化及びCABUILD構想の成功」「重点エリア・顧客層の拡大」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

その方策として、『アプデミー®』では分散型台帳を用いたNFT等のデジタルバッジやDAO（分散型自立組織）(※2)といったWeb3.0技術の研究開発及びサービス開発・拡充に引続き取り組んでおります。

主力の教育業務においては、個別収益管理の徹底を基本に、昨今のコスト増等を踏まえた価格の適正化に継続して取り組んでおります。

証券業務においては、『SAKIX 公的個人認証サービス (JPKI)』の1stユーザを獲得し、提供を開始いたしました。2027年に予定されている犯罪収益移転防止法の改正により、オンライン本人確認が厳格化される中、本サービスの導入により、新基準への対応が可能となります。加えて、本人確認書類等の郵送が不要となることから、事務コスト削減やペーパーレス化にも貢献いたします。

人材育成サポート事業においては、企業の研修教材制作における効率性と個別最適化の課題解決を目的にA Iエージェントツール『iStudy® AI Creator』をリリースいたしました。生成A Iサポートにより教材制作プロセスを最適化し、パーソナルA Iで学習者に応じた個別学習を支援いたします。今後もA I技術の積極的な活用を通じて、顧客のビジネス成長に貢献してまいります。

業績面では、前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPAN株式会社（以下、「NINJAPAN」という。）の売上寄与があったものの、前連結会計年度にあった医療関連サービスにおける機械販売や臨床検査基幹システム開発の剥

落影響等により、売上高は3,427,442千円(前年同四半期比 2.6%減)となりました。新サービスの販売促進費用発生等により、営業損失は530,531千円(前年同四半期は営業損失447,062千円)となりました。経常損失は481,096千円(同 経常損失396,627千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は391,990千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失320,976千円)となりました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第3四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第3四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスではありますが、通期では当該マイナスは解消されております。

売上高の内訳は次のとおりであります。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント毎の記載に代えてサービス別の内訳を記載しております。

#### <システム運用>

前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPANの売上寄与等により、3,109,437千円(前年同四半期比 2.6%増)となりました。

#### <システム開発及び保守>

医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落等により、299,594千円(同 14.3%減)となりました。

#### <機械販売>

医療システム用プリンタの機器更新や医療システム基盤更改の剥落等により、18,410千円(同 86.7%減)となりました。

#### (※1) NFT:

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号学的にその保有や来歴を証明することが可能です。

#### (※2) DAO(分散型自立組織):

運営会社や取締役会等の中央管理者を置かずに、参加者全員で意思決定を行う組織を指します。組織管理の観点ではガバナンスの透明性や組織・財産の管理や執行コストの低減につながることで、また経営の観点ではトークンによる経済圏の生成を通じて持続的な成長へつながることが期待されています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,270,087千円減の7,983,746千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて927,700千円減の2,021,452千円となりました。これは主に未払法人税等の納付による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて342,387千円減の5,962,293千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2025年4月30日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,273,321	2,732,871
売掛金及び契約資産	2,450,880	1,596,671
商品	-	430
仕掛品	1,940	914
その他	116,878	193,368
貸倒引当金	△2,314	△1,503
流動資産合計	5,840,706	4,522,751
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	94,371	84,546
工具、器具及び備品（純額）	56,365	55,014
リース資産（純額）	44,215	58,095
建設仮勘定	-	64,000
有形固定資産合計	194,953	261,656
無形固定資産		
のれん	304,455	279,138
ソフトウェア	955,947	697,409
ソフトウェア仮勘定	193,399	234,099
その他	11,214	10,350
無形固定資産合計	1,465,017	1,220,997
投資その他の資産		
投資有価証券	1,183,723	1,352,961
繰延税金資産	253,291	298,482
差入保証金	169,069	168,079
その他	147,072	158,816
投資その他の資産合計	1,753,157	1,978,340
固定資産合計	3,413,128	3,460,995
資産合計	9,253,834	7,983,746



(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,940	155,800
1年内返済予定の長期借入金	381,366	321,420
リース債務	37,734	21,011
未払金	79,449	121,004
未払費用	112,898	145,058
未払法人税等	219,633	8,771
賞与引当金	139,599	71,618
その他	559,849	236,019
流動負債合計	1,787,471	1,080,705
固定負債		
長期借入金	714,405	473,340
リース債務	10,627	43,506
退職給付に係る負債	436,649	423,901
固定負債合計	1,161,681	940,747
負債合計	2,949,153	2,021,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	693,900	692,729
利益剰余金	4,771,474	4,297,628
自己株式	△13,429	△3,409
株主資本合計	6,089,145	5,624,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,535	338,145
その他の包括利益累計額合計	215,535	338,145
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,304,681	5,962,293
負債純資産合計	9,253,834	7,983,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,517,275	3,427,442
売上原価	2,978,117	2,805,624
売上総利益	539,157	621,818
販売費及び一般管理費	986,219	1,152,349
営業損失(△)	△447,062	△530,531
営業外収益		
受取利息	141	943
受取配当金	34,132	40,323
受取手数料	715	694
投資事業組合運用益	2,245	4,301
保険解約返戻金	14,974	4,424
その他	3,209	3,718
営業外収益合計	55,418	54,406
営業外費用		
支払利息	3,810	3,894
株式報酬費用消滅損	100	—
その他	1,072	1,076
営業外費用合計	4,983	4,971
経常損失(△)	△396,627	△481,096
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△396,627	△481,096
法人税、住民税及び事業税	14,709	12,388
法人税等調整額	△90,360	△101,495
法人税等合計	△75,650	△89,106
四半期純損失(△)	△320,976	△391,990
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△320,976	△391,990



(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△320,976	△391,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,386	122,610
その他の包括利益合計	51,386	122,610
四半期包括利益	△269,590	△269,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269,590	△269,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	425,621千円	426,192千円
のれんの償却額	7,136	25,316